

# 安全で環境にやさしいというおいのあるまち



## 1 消防や救急体制、地区の防火体制を強化する

迅速な消防・救急体制の充実を目指し、尾三消防組合による消防・救急体制、火災予防や避難誘導のための訓練を強化するとともに、町民の防火意識の向上や消防団の活性化など地区の防火体制の強化を進めます。

### 施策の体系

(1) 消防・救急体制の強化	(2) 消防団員の資質向上
(3) 消防施設の強化	

### 10年後の姿

- ・地域密着型の消防行政が消防団中心に行われることにより、町内の火災件数が減少しています。
- ・尾三消防組合の体制強化により、救急出動要請に対応する時間が短縮され、救命率が上昇し、町民が安心して生活しています。
- ・消防水利の充実が図られて、地域の防火体制が強化されています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
消防や救急の体制に満足している町民の割合	%	30.0	35.0	40.0
耐震性貯水槽設置数	箇所	20	23	25
住宅用火災警報器の設置率	%	70.0	98.0	99.0

### 協働によるまちづくりの考え方

区・自治会と行政が一体となった防火活動を実施することにより、町民の防火意識の向上を図ります。また、火災予防の普及や普通救命講習の受講及び救急車の適正利用を町民に周知します。

防災や防犯などの地区の総合力を高め、快適で安全に暮らせるまちを目指します。また、自然や資源を大切にすることを育みながら、環境にやさしい暮らしを目指します。

## 2 犯罪や交通事故の少ない安全なまちをつくる

犯罪や交通事故の少ない安全なまちを目指し、警察・地区・学校などの連携による防犯・交通安全活動の充実とともに、交通安全施設や防犯灯の整備、交通ルール・モラルに関する町民意識の高揚などを進めます。

### 施策の体系

(1) 警察・行政・地区・学校などの連携体制の強化	(2) 防犯灯などの充実
(3) 交通安全町民意識の向上	

### 10年後の姿

- ・防犯灯が整備され、犯罪に遭いにくく、明るく住みよいまちになっています。
- ・各地域での防犯広報車によるパトロールや、防犯活動、交通安全啓発運動などにより、地域防犯体制、交通安全体制が強化され、犯罪件数と人身事故件数が減少しています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
防犯対策に満足している町民の割合	%	28.1	34.0	39.0
交通安全対策に満足している町民の割合	%	19.7	25.0	30.0
普段から防犯に心がけている町民の割合	%	63.9	69.0	74.0
人口100人当たり交通事故(人身事故)件数	件	0.72	0.57	0.47

### 協働によるまちづくりの考え方

地域や事業所などの協力を得て、防犯活動や交通安全啓発活動を実施することにより、町民の防犯、交通安全に対する意識が向上し、犯罪や事故を未然に防止します。

## 3 災害に強いまちをつくる

地震や風水害などの災害に強いまちを目指し、防災訓練などの自主防災組織の活動の促進、地域防災拠点の整備、集中豪雨による洪水対策の強化、公共施設や木造住宅の耐震化などを進めます。

### 施策の体系

(1) 安心できる住宅の整備	(2) 防災訓練の実施
(3) 災害活動拠点の整備	(4) 災害時伝達手段の整備
(5) 河川の治水機能強化と施設の維持管理	

### 10年後の姿

- ・住宅や避難所の耐震性が確保され、各地区で防災訓練を実施するなど、防災、減災の意識が高まっています。
- ・避難所までの道路が倒壊建物で塞がれることがないように、避難経路が整備されています。
- ・自主防災組織を中心とした避難所が運営できるようになっています。
- ・町民が安全で安心な環境の中で生活できるようになっています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
地震や風水害などの防災対策に満足している町民の割合	%	10.2	16.0	21.0
地震や風水害などの災害に備えている町民の割合	%	35.5	41.0	46.0
東郷町防災訓練の実施回数	回/年	0	1	1
耐震性のある住宅の割合	%	86.0	90.0	93.0

### 協働によるまちづくりの考え方

地区と行政が一体となり、様々な世代が参加できるような防災訓練等を実施することで、防災意識の向上に努めます。また、自主防災組織が強化されるように行政が支援することで、避難所の運営・救出・救護などを、地区と行政が一体となって実施します。

## 4 安心して消費生活が送れる体制を整える

健康で安全かつ豊かな生活を目指し、消費に関するトラブル等に対応するため、相談事業の充実と啓発活動の強化を図ります。

### 施策の体系

(1) 消費者支援の充実	(2) 消費者活動の支援
--------------	--------------

### 10年後の姿

- 適切な情報の提供や消費相談業務の充実により、消費生活における被害防止を図り、町民一人ひとりが正しい知識を持ち、安心して消費生活を送っています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
消費者保護対策に満足している町民の割合	%	4.5	10.0	15.0
消費生活相談実施回数(回/月)	回/月	2	4	8

### 協働によるまちづくりの考え方

消費生活における被害防止を図り、町民一人ひとりが正しい知識を持てるように、消費者問題や消費者活動の意識の共有を図ります。

## 5 人と自然が共生し、うるおいのあるまちをつくる

本町の財産である水と緑豊かな自然を継承し、人と自然が共生するうるおいのあるまちを目指し、境川やため池などの水辺環境や良好な樹林地の保全など、自然環境の大切さを感じることができるようになるとともに、法令等の遵守による快適な生活環境づくりを進めます。

### 施策の体系

(1) 水辺環境の保全整備	(2) 環境学習の推進
(3) 環境保全対策の推進	(4) 環境衛生対策の推進

### 10年後の姿

- 「水と緑豊かな自然」が継承されており、身近に自然を感じ、ふれあうことができています。
- 親水公園などが整備され、町民の多くが利用する憩いの場となっています。
- 公害のない快適な生活環境が保たれています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
自然環境の保全や創出に満足している町民の割合	%	20.2	26.0	31.0
公害対策などの環境汚染対策に満足している町民の割合	%	16.3	21.0	27.0
親水公園数	箇所	2	3	4
狂犬病予防注射接種率	%	72.2	76.0	80.0

### 協働によるまちづくりの考え方

町民に地域の自然環境に関心を持ってもらうために、水辺環境の整備・改修の計画段階から町民や地域が参画し、NPOなどとの連携により環境学習の輪が広がるような取組みを進めます。

環境に関心のある町民が主体となった町民参画型の環境イベントを開催するなど、環境学習の輪が広がるような取組みを進めます。

また、公害を未然に防止するため、町民や地域の連携による監視を強化します。

## 6 地球温暖化の防止や環境にやさしいライフスタイルへの転換を進める

地球温暖化の防止に向けた低炭素社会の実現を目指し、事業所や家庭における自然エネルギーの活用や省エネルギー化を促進するとともに、地球環境に対する意識を高め、環境にやさしいライフスタイルへ転換を図るための環境教育や普及啓発などを進めます。

### 施策の体系

(1) 地球温暖化対策の推進	(2) 東郷町エコプラン <sup>注1</sup> の推進
(3) 自然エネルギーの利用促進	(4) エコモビリティライフ <sup>注2</sup> の推進

### 10年後の姿

- ・町民が地球温暖化問題に関心を持ち、一人ひとりがこまめにエネルギーの節約を心がけたり、自動車に過度に頼らないライフスタイルに転換するなど、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
普段から省エネを心がけている町民の割合	%	62.6	68.0	73.0
公共交通機関を利用するようにしている町民の割合	%	20.7	26.0	31.0
東郷版 ISO <sup>注3</sup> 認定家族数	家族	267	400	500

### 協働によるまちづくりの考え方

低炭素社会の実現に向けて、将来に負担を先送りすることなく、町民、事業者及び行政のそれぞれが環境に配慮した取組みを促進し、地球環境に与える負荷を低減します。

## 7 資源を大切に、環境負荷の少ないまちをつくる

資源を大切に、環境負荷の少ない循環型社会の形成を目指し、町民や事業者の意識改革と役割分担のもと、3R「ごみを減らす（リデュース）」、「再使用する（リユース）」、「再生利用する（リサイクル）」の取組みを推進するとともに、ごみの適正な処理などを進めます。

### 施策の体系

(1) 3Rの推進	(2) ごみ・し尿の適正処理
(3) まちの環境美化と不法投棄対策の推進	

### 10年後の姿

- ・町民が積極的に3R活動に取り組み、資源として再生利用できるものが、ごみとして排出されていません。
- ・ポイ捨てごみや不法投棄のない清潔な生活環境が保持されています。

### 目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
普段からリサイクルに心がけている町民の割合	%	63.4	69.0	74.0
処理しなければならないごみの量（1人1日当たり）	g	756	740	720
資源化率 <sup>注4</sup>	%	18.0	20.0	22.0

### 協働によるまちづくりの考え方

ごみ問題は人の生活や事業活動に関わるものであるため、町民や地域、事業者、行政の相互の連携・役割分担のもとに、ごみ減量や環境美化に向けた取組みを進めます。

#### 用語解説

<sup>注1</sup> 東郷町エコプラン：本町の事務・事業に関し、各職員が環境に配慮した行動を推進し、温室効果ガスの排出を抑制・削減するための行動計画。

<sup>注2</sup> エコモビリティライフ：愛知県が推進する、環境にやさしく、安全で健康的な生活や活力のある地域づくりを実現するため、行政・事業者・各種団体・NPOなど幅広い主体の連携・協働のもとに、自動車と公共交通、自転車、徒歩等を賢く使い分けるライフスタイル。

<sup>注3</sup> 東郷版 ISO：各家庭等で実践可能な省資源・省エネルギーに関する具体的な行動例とその効果を示し、実際に取り組むための指針。

<sup>注4</sup> 資源化率：東郷町全体で排出されたごみの総量に占める資源として回収されたごみの量。